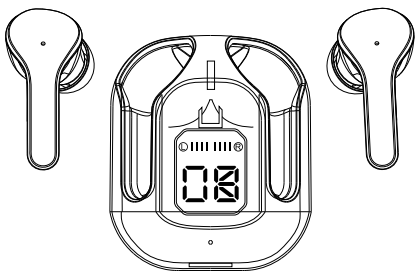


ワイヤレスイヤホン

2422/GHHD-03シリーズ 取扱説明書
Ver. 1.0





■同梱品の確認

パッケージの中に以下のものがすべてそろっていることを確認してください。

- 製品本体 1組
- 充電ケース 1台
- 専用 USB Type-C ケーブル (約30cm) . . . 1本
- イヤークリップ (S・M※・L) . . . 各1組※M装着済み
- 取扱説明書 / 保証書 (本書) 1枚


■安全に正しくご使用いただくために

 **安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください**

 **警告** 下記事項を守らないと、死亡したり、重傷を負うおそれがあります

- 製品を口に入れしないでください。
- 異常を感じる場合は使用しないでください。
- 発煙や発熱、異臭、異音が発生したら、すぐに使用をやめてください。
- 歩行中など屋外で使用する場合は、周囲の状況に十分注意してください。
- 大音量で長時間連続で使用すると聴力を損なう可能性がありますので、適度な音量で使用してください。
- コードを引っばったり、傷つけたりしないでください。
- コードを首に巻きつけたり、巻きついた状態で使用しないでください。
- 不安定なところには置かないでください。
- ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。

- 充電中に落雷のおそれがある場合は、専用USB Type-C ケーブルをパソコンなどから抜いてください。
- プラグを抜き挿しする際はコードを引っばらず、プラグを持ってください。
- 異物や液体を入れたり、付着させないでください。
- 水に濡れたり、水しぶきがかかるような場所では使用しないでください。
- 高温多湿や直射日光を避けてください。
- 分解や改造をしないでください。
- 子供や乳幼児の手の届くところで使用しないでください。
- 子供が使用する場合は、常に保護者による監督を行ってください。
- 運転中は使用しないでください。
- 航空機内での使用は、航空会社の指示に従ってください。
- 医療機器や人命に関わるシステムの近くで使用しないでください。
- ペースメーカーなどの医療機器を使用している場合は、事前に医師に相談してください。

 **注意** 下記事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります

- 静電気を帯びた手で触れないでください。
- 定期的にホコリやゴミを取り除いてください。
- お手入れの際はプラグを抜いてください。
- 金属部分が直接肌に触れますので、金属アレルギーの方やおそれのある方は使用しないでください。
- 炎症やかぶれなどの原因になることがありますので、使用中に耳や肌などに異常を感じたら使用を中止してください。
- ご使用前に必ずイヤークリップが確実に取り付けられていることを確認してください。
- イヤークリップが外れて耳の中に残った場合は、無理に取り出そうとすると耳を損傷するおそれがありますので、医師に相談してください。
- イヤークリップを誤って飲み込まないように、子供や乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- 火傷や炎症などの原因になることがありますので、万が一、内蔵リチウムポリマー充電電池の液が漏れたときは素手で液をさわらないでください。
- 失明の原因になることがありますので、万が一、内蔵リチウムポリマー充電電池の液が目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。
- 火傷や炎症などの原因になることがありますので、万が一、内蔵リチウムポリマー充電電池の液が身体や衣類についたときは、すぐに水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。
- 目的外の使用はしないでください。
- 充電ケースやイヤホンの充電端子を汚したり、触ったりしないでください。
- 付属の専用USB Type-Cケーブル以外での充電はしないでください。

電波に関する注意

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
 1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万が一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
 3. その他、構内無線局およびこの機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局又はアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先にお問い合わせください。

連絡先:テクニカルサポートダイヤル
03-5421-0580

- 本製品は日本国内専用です。日本国外では使用することができません。
- 磁場や静電気、電波障害が発生するところや、2.4GHz帯域の電波を使用しているものの近くでは、本製品を使用しないでください。
- 万が一、本製品とほかの無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、使用をやめてください。
- 電波干渉が発生した場合など、お困りの際はテクニカルサポートへお問い合わせください。
- 充電ケースに印刷されている技術基準適合証明記号及び番号を消さないでください。

ご使用上のご注意

- 汚れは、やわらかい布でふき取ってください。
- ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- お手入れの際、ベンジンやシンナーなど溶剤、強力な洗剤などは使用しないでください。
- 使用状態や経年変化によって、塗装や印刷がはがれる場合があります。
- 装着部分が汚れると音質に悪影響となりますので、汚れた際は、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- 気温が低い冬場などは、イヤークリップを冷たく感じる場合があります。

- イヤークリップは、使用状態や経年変化によって外れやすくなる場合があります。
- イヤークリップが汚れると音質に悪影響となりますので、汚れた際は、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- 廃棄する場合は、自治体の指示に従ってください。

制限事項

- 本製品の通信距離は最大10mですが、磁場や静電気、電波障害が発生するところや、2.4GHz帯域の電波を使用しているものの近く、壁や障害物の影響によって、通信が安定せず、接続が途切れたりする場合があります。
- 長時間の使用により、製品が温くなる場合があります。
- 磁場や静電気、電波障害によって、雑音が発生する場合があります。
- 対応するBluetooth機器であっても、動作できない場合があります。
- 内蔵リチウムポリマー充電電池の劣化を避けるため、長期間使用しない場合でも定期的に充電し、動作確認を行ってください。
- 繰り返しの充放電や経年により内蔵リチウムポリマー充電電池が劣化し、電池持続時間が短くなったり使用できなくなりますが、内蔵リチウムポリマー充電電池の交換はできません。
- 屋外で使用する場合は、その地域の取り決めや条例などに従って使用してください。
- 各種施設で使用する場合は、その施設の利用規約に従って使用してください。
- 本製品(イヤホン・充電ケース)には強力磁石が内蔵されていますので、磁気カードなどを近づけないようにしてください。

小型充電電池のリサイクルについて

この製品はリチウムポリマー電池を使用しています。通常の家庭ごみとして廃棄することはできません。ご不要になった製品を廃棄する場合は、下記の送付先まで宅配便(元払い)にてお送りください。



Li-ion

〒150-0013
東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル5F
株式会社グリーンハウス
小型充電電池リサイクルサービス宛

Bluetoothについて

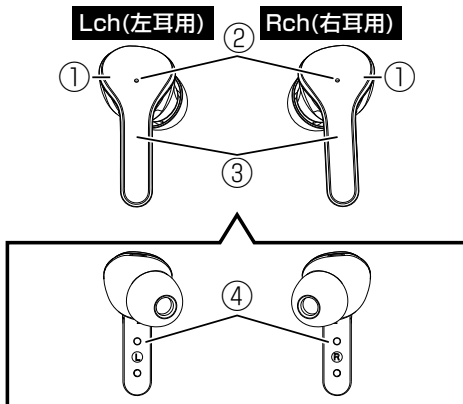


Bluetooth®のワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社グリーンハウスは、使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

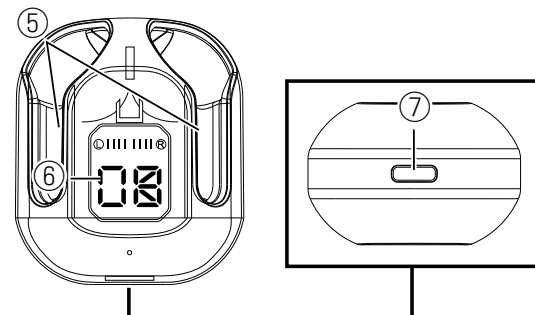
■各部名称

- ①イヤホン(Lch、Rch) ④充電端子(イヤホン側) ⑥残量インジケータ
 ②LEDランプ(イヤホン側)、マイク ⑤充電端子(充電ケース側) ⑦USB Type-C端子充電
 ③マルチファンクションタッチボタン

イヤホン





充電ケース



■ガイダンス・ブザー

操作・機能	ガイダンス・ブザー
電源ON	Power On
ペアリング待機	Paring
ペアリング成功	Connected
ペアリング解除	Disconnected
ミュージックモード/低遅延モード	Music Mode / Game Mode
通話着信	着信音
通話終了	—
電池残量低下	Please Charge
電源OFF	Power Off

充電残量インジケータの表示

イヤホン充電バー %表示

 充電ケースのバッテリー残量を0~100で表示します。
 イヤホン充電バー

 イヤホンを充電中に点滅します。

- 充電残量インジケータの%表示は参考値であり、正確なバッテリー残量を示すものではありません。
- ケース充電中にイヤホンも充電している場合、イヤホンの白色LEDが点灯し充電ケースのケース充電残量%表示が点滅します。

■LEDランプ(イヤホン側)


状態	LEDランプ状態
電源ON	緑点灯
ペアリングモード	白緑点滅
ペアリング成功	消灯
ペアリング解除	白緑点滅
音楽再生	消灯
通話着信	消灯
通話中	消灯
通話終了	消灯
電池残量低下	白点滅
充電中	白点灯
充電完了	消灯
電源OFF	白点滅3回

■充電残量インジケータ

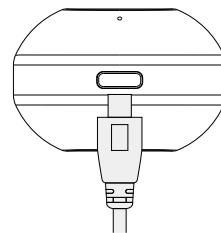
状態	LEDランプ状態
充電中	充電残量に応じて%表示点滅(1の位)
充電完了	「OK」表示
イヤホン充電	ケース画面のイヤホン充電バーが点滅

■充電方法

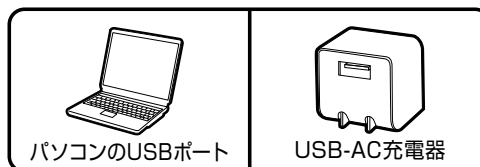
・充電ケース

 充電時間の目安 **約2時間**

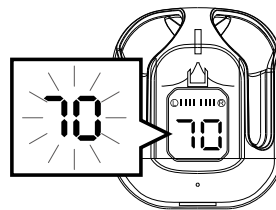
1. 充電ケースのUSB Type-C端子に付属の専用USB Type-Cケーブルを接続します。



2. 専用USB Type-CケーブルをパソコンやUSB-AC充電器のUSBポートに接続します。



3. 充電残量インジケータの%表示の数字が点滅し、充電が開始されます。



4. 充電が完了すると充電残量インジケータの%表示が「OK」になります。

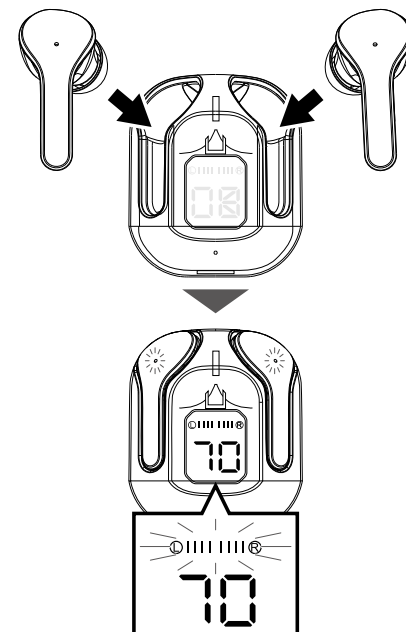
- はじめて使用するときや、しばらく使用していなかったときは、充電時間が長くなる場合があります。
- 使用環境や経年劣化などにより、再生時間が変わる場合があります。
- 充電しながら本製品を使用できません。
- コンセントから充電する場合は、別売りのUSB-AC充電器をご使用ください。
- イヤホン充電時は、ケースの充電バーが点滅していることを確認してください。
- 付属の専用USB Type-Cケーブル以外での充電はしないでください。USB CtoCケーブルなど、他のケーブルを使用すると、充電できない場合があります。

・イヤホン

 充電時間の目安 **約1時間45分**

1. イヤホンを充電ケースに収納します。イヤホンのLEDが白点灯しケースのイヤホン充電バー表示が点滅し、充電が開始されます。

- 充電ケースの表面は滑りやすくなっています。イヤホンの収納/取り出しの際は、落下に気をつけてください。



2. 充電が完了するとイヤホンのLEDと充電残量インジケータが消灯します。

Bluetooth接続をする(ペアリング)

- 他のBluetooth機器と接続状態ではペアリングがおこなえないため、他のBluetooth機器の電源を切るなどして接続を解除してください。

ペアリングとは？

Bluetooth機器では、あらかじめ接続する機器を登録する必要があり、この登録をペアリングと言います。一度ペアリングをおこなうと電源を切っても情報が保持され、再度電源を入れると最後にペアリングした機器と接続できます。ペアリングには、本製品とスマートフォンの操作が必要になります。

1. 本製品が他のBluetooth機器と接続していない状態で、スマートフォンから1m以内に近づけてください。
2. スマートフォンの電源を入れ、スマートフォンのBluetooth機能をオンにしてください。
3. 充電ケースからイヤホンを取り出すとLEDランプが白緑点滅します。
4. スマートフォンでイヤホンの接続操作(ペアリング)をおこなってください。(本製品は「GHHD-03-BASS」と認識されます)
5. ペアリングが成功するとイヤホンから「Connected」とガイダンスが流れ、LEDランプが消灯します。

- 約3分間ペアリングが完了しなかった場合は自動的に本製品の電源が切れますので、再度電源を入れてペアリングをやり直してください。
- 詳しい操作方法については、相手側のBluetooth機器に付属している取扱説明書を参照してください。
- 最大10台までのスマートフォンとの接続情報を保持するマルチペアリングに対応しています。
- 接続が不安定な場合は、ペアリングをやり直してください。

操作方法

電源を入れる

LchかRchのマルチファンクションタッチボタンを約3秒間長押しする。

音楽を再生する

LchかRchのイヤホンのマルチファンクションタッチボタンを短く1回押す。

音楽を一時停止する

再生中にLchかRchのイヤホンのマルチファンクションタッチボタンを短く1回押す。

曲を送る

Rchのイヤホンのマルチファンクションタッチボタンを短く2回押す。

曲を戻す

Lchのイヤホンのマルチファンクションタッチボタンを短く2回押す。

音量を上げる

Rchマルチファンクションタッチボタンを短く3回押す。

音量を下げる

Lchマルチファンクションタッチボタンを短く3回押す。

接続しているスマートフォンの音声アシスタント(SiriやGoogleアシスタントなど)を起動

Lchのマルチファンクションタッチボタンを約2秒間長押しする。

電源を切る

LchかRchのイヤホンのマルチファンクションボタンを6秒間長押しすると、イヤホンから「Power Off」とガイダンスが流れて本製品の電源が切れる。

電源を切る(ケースに入れる)

イヤホンを充電ケースに収納すると電源が切れる。

- ※スマートフォンによっては、上記の機能が使えない場合があります。
- ※スマートフォンの仕様、操作については、お使いのスマートフォンのメーカーやキャリアへお問い合わせください。

電話を受ける

LchかRchのマルチファンクションタッチボタンを短く1回押す。

電話を切る

LchかRchのマルチファンクションタッチボタンを短く1回押す。

着信拒否をする

LchかRchのマルチファンクションタッチボタンを約2秒間長押しする。

モード切り替え

ゲームモード(低遅延)に切り替える

Music Modeの時に、Rchマルチファンクションタッチボタンを約2秒間長押しすると、イヤホンから「Game Mode」とガイダンスが流れ、ゲームモードに切り替わります。ゲームモードでは、ゲームや動画などで発生する音声ズレを低減します。

※ゲームモードでは、電力消費量が増えるため、バッテリーもちが悪くなります。また、障害物や電波状況により、Bluetooth通信が途切れやすくなる場合があります。

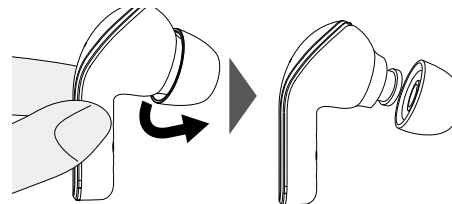
ミュージックモード(通常)に切り替える

Game Modeの時に、Rchマルチファンクションタッチボタンを約2秒間長押しすると、イヤホンから「Music Mode」とガイダンスが流れ、ミュージックモードに切り替わります。

イヤピースを交換する

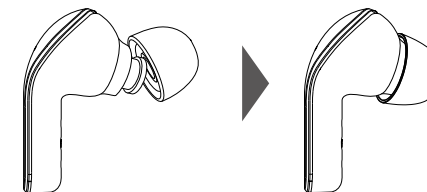
イヤピースを外す

下図のように、イヤホンをしっかりと押さえた状態で、イヤピースの縁をつまみながらゆっくりと引っばってください。



新しいイヤピースを取り付ける

下図のように、イヤホンの突起部の凹みにイヤピースの内縁を引っ掛けながら均等に押し込んでください。



製品仕様

Bluetooth規格	Ver.5.3
出力	Class2
動作範囲	10m
周波数	2.4GHz帯(2402MHz~2480MHz)
Bluetoothプロファイル	HFP、A2DP、AVRCP
対応コーデック	SBC、AAC
ドライバーサイズ	Φ8mm
インピーダンス	32Ω±15%
搭載端子(専用充電ケース)	USB Type-C
電源	DC 5V (USB給電)
バッテリー(イヤホン)	リチウムポリマー電池 L/R 各25mAh
バッテリー(専用充電ケース)	リチウムポリマー電池 230mAh
再生時間(イヤホン)	約5時間(音楽再生)
再生時間(イヤホン+専用充電ケース)	約12時間30分(音楽再生)
充電時間(イヤホン)	約1時間45分
充電時間(専用充電ケース)	約2時間
外形寸法(イヤホン)	H35 × W17 × D25(mm)
外形寸法(専用充電ケース)	H50 × W43 × D29(mm)
重量(イヤホン)	各約4g
重量(専用充電ケース)	約25g
マルチポイント/マルチペアリング	マルチペアリングのみ
駆動方式	ダイナミック方式
動作温度範囲	5~40℃
動作湿度範囲	25%~80%
防水性能	IPX4
生産国	中国
工事設計認証番号	  201-240465

- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc.の商標で、弊社はライセンスに基づき使用しています。
- 送信距離や使用時間はご使用環境やご使用状況によって異なります。

Bluetoothプロファイルとは？

Bluetooth機器では、それぞれの機器の役割ごとに定められた通信規約があり、この通信規約をプロファイルと言います。同じプロファイルを持つ機器間のみが通信可能となり、その役割を果たします。本製品が対応するプロファイルは以下の通りです。

A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)

音楽再生のプロファイルです。ステレオ音声の受信ができます。

AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)

AV機器のリモコン操作をするためのプロファイルです。

HFP(Hands-Free Profile)

本製品でハンズフリー通話をするためのプロファイルです。HSPの機能に加えて、通信の発信、着信の機能を持っています。